

国際交流ひろば



鳥取市国際交流員
イザベル・ハーター

宝飾工芸のまち ハーナウ

姉妹都市のドイツ・ハーナウ市は、『宝飾工芸のまち』と言われてます。その理由は、十七世紀からハーナウ市で盛んになった金細工工芸にあります。そして、現在もハーナウ市では、「ドイツ金細工ハウス」という博物館と「美術工芸アカデミー」という専門学校により、金細工

工芸の伝統が守られています。

ドイツ国内はもとより、広く国外にも知られている「ドイツ金細工ハウス」では、毎年四五回、装飾品や貴金属をテーマにした展覧会が開催されます。二〇〇〇年には約二万人もの来場者がありました。また、一七二二年に設立された「美術工芸アカデミー」は、ドイツで最も古い金細工専門学校です。同校は二百三十年の伝統を誇り、金・銀細工師、宝飾デザイナー、彫金師などを養成しています。アカデミーの卒業生の作品展は、ハーナウ市民が毎年心待ちにしている催しです。卒業生の中から多くの有名な工芸家を輩出し

金細工「ハーナウの結婚杯」



の有名な工芸家を輩出し

鳥取市国際交流プラザ からのお知らせ

生活支援室に“ご支援”を！

鳥取市国際交流プラザに「生活支援室」があります。ここでは、留学生など市内に在住している外国人のためにみなさんから寄せられた品物を提供しています。「捨てるにはしのびないものだが、置き場所がない」というときは、ぜひご相談ください。

喜ばれる品物

電子レンジ 炊飯器 ビデオデッキなどであと数年は使えるもの 清潔な毛布 タオルケット ふとん タオル類 子供服 洋食器 なべ 包丁など 修理や清掃の必要な家電品、大型家具、直接肌につけるもの、背広などはご遠慮ください。

なお、プラザ内「さしあげます」コーナーにも掲示しています。

問い合わせ先 鳥取市国際交流プラザ

(湖山西一丁目・ 31 3253)

ていることから、このアカデミーの技術レベルの高さがわかります。

ドイツでは美術工芸の教育機関として、職業学校、職業専門学校、専門学校という三種の学校があります。日本とはちょっと違った制度なので、簡単に説明しましょう。

職業学校というのは、金細工の企業などで働きながら学校に通い、三年半の間、職業教育を受けるものです。教育期間修了後、試験と作品製作に合格すると「ゲゼレ」という職業資格が得られます。

職業専門学校でもゲゼレの資格を取得できます。学生は企業

では働かずに、三年半の間、金細工工芸の理論と実技を学びます。

専門学校は、ゲゼレの資格取得後に一年間実務経験を積んだ人が、さらに一年半学び、「マイスター」という最高の資格をめざすものです。

こうしたドイツの手工芸教育や宝飾品生産に興味があるみなさんは、ぜひハーナウ市で実際に「ドイツ金細工ハウス」と「美術工芸アカデミー」をご覧ください。

写真と同様の結婚杯を、鳥取市役所一階玄関ホール「姉妹都市コーナー」に展示しています。